

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 1 年
授業者氏名 横井 聡	
題材名 いちねんせいのうた	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 音読の方法について学んだ子どもたちが、 「いちねんせいのうた」の読み方を考える場面で、口の動きを含んだ顔の表情に着目し、口舌を意識して音読する友だちの姿やその声を聞くことを通して、音読の方法を工夫しようとするすることができる。	
学習材 教科書「いちねんせいのうた」	
成 果 子どもたちは、単語の発声の際に動作化や口舌の動きに意識を向けて取り組んでおり、外国語活動にて「th」の発音なども気にすることができている。 「いちねんせいのうた」では、漢字の「一」が登場し、学習がさらに深まる予感がする教材である。改めて口舌を動かしてよりよく発声をすることで、作品をより楽しむことができた。また、チームに分かれて音読をすることで、互いに見合い聞き合う良さも感じられた。	
課 題 題材そのものが歯と口の健康を意図したものではないので、動機づけには悩む。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 2年
授業者氏名 星野こず恵	
題材名 夏休み中の歯みがきを振り返ろう	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 夏休み中に全校配付された「夏休みチャレンジカレンダー」を活用して、歯みがきの様子を記録した子どもたちが 夏休み中の自分の歯みがきのよい点と改善したい点に着目し、 友だちと歯みがきを忘れずにするための工夫や、丁寧にみがくためのコツを伝えあうことを通して、 家庭における日々の歯みがきを改善することができる。	
学習材 「夏休みチャレンジカレンダー」	
成 果 夏休みの歯みがきについて振り返りをしたことで、家ではどうだろうと見返すことができた。朝が忘れやすい子、昼がなかなかできない子、夜磨かずに寝てしまう子など、個によって歯みがきが疎かになる時間が異なり、その原因を振り返ったり、忘れずに取り組んでいる子に工夫を聞いたりすることで、家で工夫できそうな点を見つけることができた。 「食べたらすぐみがくと、気持ちいいし忘れないよ。」「朝は、忙しいとやらないでしまから、早起きしたり、朝ご飯をどんどん食べたりして余裕があるといいよ。」などの意見がでた。	
課 題 実態を見てみると、全体的に仕上げみがきまでしている家庭が多かったが、三食後の歯みがきは家庭差が大きい。3回必ずみがいている家庭もあれば、1日に1回もみがかない児童も見られる。学校での歯と口に関わる学習や話し合いの様子をお便りで伝え、家庭もいっしょに考えていただけるようにしたい。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 3年
授業者氏名 塩澤佑樹	
題材名 「歯みがきのタイミング」	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 1学期にむし歯の影響について学んだ子どもたちが、自分たちが日頃の歯みがきはいつ行っているのかに着目し、自分の歯みがきの習慣の特徴を捉えることを通して、歯みがきの習慣を改善しようとするすることができる。	
学習材 歯みがきチェックの結果（クラスで何人の人がその日にみがいてきたかがわかる資料）	
成 果 ・誰がみがいているのかの具体名を出さず歯みがきチェックの結果を出したが、あまりシールを貼ることができていなかった子どもたちの表情から、改善せねばという思いが見えた。 ・歯みがきができているときと、本当はやった方がいいけれども、それができていないときを明確にすることができた。	
課 題 ・周りがやっているから自分もやらなければという気持ちよりも、自分で必要感をもって歯みがきに向かう姿勢を促すような活動を今後は盛り込みたい。	

【授業実践振り返りカード】

学校名	本郷小学校	学年	4年
授業者氏名 守屋 久美			
題材名 「 “パタカラ体操” を伝えよう 」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 1学期に“パタカラ体操”の効果を知り、夏休み中もチャレンジカードを使いながら、3食後の歯みがきと共に体操を意識して過ごした子どもたちが、あみがさ「やさしさ発見富士見町～だれもが安心して暮らせる町に～」活動の一環で地域のお年寄りとの交流の計画を立てることを通して、自分たちが健康によいと思ったことを工夫して広げていこうとする態度を育てることができる。			
学習材 ・チャレンジカードふりかえり ・構想カード			
成 果 “パタカラ体操”をお年寄りにわかりやすく伝えるにはどうしたらよいか考えることを通して、日頃から体操を心がけている児童とほとんどやっていないという児童がいる中で、全体でもう一度その効果について確認し合うと共に、朝の会で“パタカラ体操”を続けてみようという児童の中から提案があり、継続することとなった。			
課 題			

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 5 年
授業者氏名 清水 友貴子	
題材名 歯みがきを振り返り、今後に生かそう	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 夏休み中に「歯みがきカレンダー」を使い日々の歯みがきについて記録してきた子どもたちが、自分の歯みがきの取り組みを振り返ることを通して、 家庭における成果と課題をみつけ、家庭（休日）の歯の健康について生活の改善を考える事ができる。	
学習材 夏休み中の歯みがきカレンダー	
成 果 ・「パタカラ体操」を親子でやってみたという感想もあり、家庭で歯と口の健康について考える機会となった。 ・色塗り形式にしたことで、改めて見返すと自分の足りていない取り組みに気づくことができた。	
課 題 ・休み中の取り組みは家庭によって大きな差がある（特に昼）。家庭をまきこんでの取り組みが大切。振り返ったことや課題についてお知らせする機会をもちたい。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 6年1組
授業者氏名 佐野 登	
題材名 「朝の歯みがきチェックシート表」を見て、朝の歯みがきの大切さを考えよう	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 歯みがきの大切さに気づいている子どもたちが、朝登校してきた際にシールを貼る「朝の歯みがきチェック表」を見て、朝の歯みがきができている人とできていない人がいることに着目し、朝の歯みがきの大切さをについて考えることを通して、毎朝の歯みがきを実践しようとする意欲をもつことができる。	
学習材 「朝の歯みがきチェック表」	
成 果 朝の歯みがきができていない子が、クラスの友だちや他の学年の友だちは、毎朝歯みがきができていない友だちが多いことに気づき、自分も朝の歯みがきに取り組んでいきたいと意欲をもつことができた。	
課 題 朝の歯みがきは、あくまで家庭での習慣のため、子どもの意識を高めるだけでは実践につながりにくい。家庭への啓蒙をいかにしていくか課題である。	